

策定委員会（第1回・第2回）における委員からの意見整理

1. 住生活基本計画の考え方の整理

住生活基本計画は、住まいを中心とした生活圏の計画で、生活圏は歩いて行ける徒歩圏と設定し、それが充実することで住み続けたいまちになる。公園、道路、公共施設など、市内に1つではなく学区に1つあるもの、それを住生活の生活圏に入れる必要がある。例えば学校は、蒲郡市公共施設等総合管理計画で位置づけられており、関連計画との関係性の位置づけも必要である。

新型コロナウイルスによる住まい方の変化に対して、市民のニーズや、またニーズが一過性のものではないかなど注視しながら、必要に応じた住まいの情報提供や住宅対策などについて研究していく。

2. 各課題における委員の意見と取り組む施策整理

項番	委員の意見	対応する施策等		
		基本目標及び施策の方向	取り組む施策	関連計画
課題1「高齢者や障がい者が安心して暮らし続けることができる住宅・住環境の整備」				
1	「バリアフリーへの対応」の評価が上がっているのは、介護保険や福祉サービスが広く浸透してきている効果だと思われるが、低所得の方々は設備の古い住まい、段差がある住まいに住んでいる方が多いと思われるため、そういう方々の住まいの改善も行われる必要がある。	基本目標1 「世帯のニーズに合った住まい方への対応」 (1) 高齢者、障がい者が安心して暮らせる 住まい・まちづくり	計画書 P48 ○介護保険サービスによる住宅改修支援事業 ○障がい者の日常生活用具給付等事業	・東三河広域連合介護保険事業計画 ・蒲郡市高齢者福祉計画 ・蒲郡市障害者福祉計画
2	「バリアフリーへの対応」、「高齢者等のための福祉環境」の評価を上げるためには、心のバリアフリーが必要である。	基本目標1 「世帯のニーズに合った住まい方への対応」 (1) 高齢者、障がい者が安心して暮らせる 住まい・まちづくり	計画書 P48 ○障がい者への理解を深める研修・啓発事業	・蒲郡市障害者福祉計画
3	公共施設や道路を視覚障がい者や車イスの方がスムーズに利用できるような町になって欲しい。	基本目標5 「質の高い住宅とニーズに応じた住宅・住環境の整備」 (2) 人にやさしいまちづくりの推進	計画書 P56 ○公共施設等のバリアフリー化の推進	・蒲郡市人にやさしい街づくり基本計画
課題2「若年世代が、子育てしやすく、住み続けられる住環境の整備」				
4	新型コロナウイルスの影響により、テレワークの導入が進んでいる。また、テレワーク導入により仕事を続けていくことができる環境も重要で、女性の社会参画、少子化対策にもなる。 今後は、テレワークのための資源としての空家の利活用も検討が必要である。	基本目標4 「空家の流通促進と発生の抑制」 (1) 空家の利活用の推進	計画書 P54 ○空家バンクの周知と利用促進 ○空家の情報提供	

項番	委員の意見	対応する施策等		
		基本目標及び施策の方向	取り組む施策	関連計画
課題3「安全安心な住宅・住環境の整備」				
5	住宅の耐震化を高めて、自分の命と生活を守ることも必要だが、災害時の避難所についても、三密を回避しながら、最低限のレベルの生活が継続できるように考える必要がある。	基本目標3 「災害に備える住まい・まちづくり」 (1) 防災性の高い住まいの整備	計画書 P52 ○民間住宅耐震診断の周知・実施 ○民間木造住宅耐震改修への支援 ○低コスト工法の普及・啓発 ○木造住宅耐震シェルター設置への支援 ○家具等転倒防止事業	
課題4「市営住宅の計画的な維持・管理と住宅セーフティネットの強化」				
6	セーフティネットの登録住宅は県が行っており、蒲郡市では、居住支援を行う関係者が集まった居住支援協議会の立ち上げ等、登録につながる取組を実施する必要がある。	基本目標2 「住宅確保要配慮者の居住の安定確保」 (2) 低所得者の居住の安定の確保	計画書 P51 ○民間事業者等と連携した新たな住宅セーフティネットの推進 ○民間賃貸住宅の賃貸人に対する住宅確保要配慮者向け賃貸住宅登録制度の周知	・蒲郡市営住宅長寿命化計画
7	高齢者や外国人等がスムーズに賃貸住宅を借りることができる仕組みや、居住支援協議会をはじめ、不動産や福祉等、様々な関係者と連携して住宅セーフティネットに取り組む体制づくりが必要である。			
課題5「空家の適正管理と有効活用」				
8	空家は人によって認識が異なるので、空家の有効活用に向けた周知や無料相談、また有効な管理方法の検討が必要である。	基本目標4 「空家の流通促進と発生の抑制」 (1) 空家の利活用の推進 (2) 空家の適正管理・予防	計画書 P54 ○空家バンクの周知と利用促進 ○空家セミナー・相談会の実施 ○空家所有者への啓発活動	・蒲郡市空家等対策計画
9	空家においては、その他の住宅が増えており、長期空家になる可能性が高く、活用方法の検討が必要である。 一方で、賃貸用の住宅が減っているのは、賃貸ニーズが比較的あって減っていることも考えられるので、それを踏まえて、空家対策を考える必要がある。(第1回策定委員会)			

項番	委員の意見	対応する施策等		
		基本目標及び施策の方向	取り組む施策	関連計画
課題6「質の高い住宅形成と住まいのニーズに応じた住宅・住環境の整備」				
10	蒲郡市の住宅において、特に高齢者では、面積や間取りに満足する人が多く、感染症対策において、テレワークや在宅での子育てを考えた場合、仕事をするためのプラス1の部屋が必要となる。	<p>基本目標1 「世帯のニーズに合った住まい方への対応」 (4) ニーズに応じた住まいの情報提供と相談体制の充実</p> <p>基本目標5 「質の高い住宅とニーズに応じた住宅・住環境の整備」 (1) 世代を超えて長く使い続けることができる良質な住宅ストックの形成</p>	<p>計画書 P50</p> <p>○住まいに関する総合的な情報提供 ○住まいに関する相談窓口の充実 ○不動産関連団体との連携による相談会の実施 ○空家の情報提供</p> <p>計画書 P55</p> <p>○住宅リフォームに関する情報提供の充実</p>	
課題7「蒲郡の特性を活かしたまちづくり」				
11	狭い道路では、業者が土地を所有していて通れない場所がある。今後、増える可能性があり、対抗できる施策が必要である。(第1回策定委員会)	<p>基本目標5 「質の高い住宅とニーズに応じた住宅・住環境の整備」 (3) 安心・安全で快適な住環境の整備</p>	<p>計画書 P56</p> <p>○狭い道路拡幅事業の推進</p>	
12	徒歩圏での生活の質を上げることが住生活基本計画であり、住宅計画ではなく、居住生活の計画として、蒲郡市の様々な要素をくみ上げ、施策を検討する必要がある。	<p>基本目標6 「蒲郡の魅力を活かしたまちづくり」 (1) 蒲郡らしさを活かしたまちづくり</p>	<p>計画書 P57</p> <p>○蒲郡市立地適正化計画の推進</p>	・蒲郡市立地適正化計画
13	愛知県は、リニアやアジア競技大会を見据えており、蒲郡市の魅力を対外的に発信していくことが重要である。(第1回策定委員会)	<p>基本目標6 「蒲郡の魅力を活かしたまちづくり」 (1) 蒲郡らしさを活かしたまちづくり</p>	<p>計画書 P57</p> <p>○SNSなどを活用した情報発信</p>	・改訂・蒲郡市観光ビジョン
14	新型コロナウイルスの影響で、東京や大阪など、過密な都市に住みたくないと思う人が増える可能性があるため、都市部からの受け入れを見据え、住宅だけではなく、徒歩圏の生活の質や、駅周辺の利便性の向上に向けた取組が必要となる。	<p>基本目標6 「蒲郡の魅力を活かしたまちづくり」 (1) 蒲郡らしさを活かしたまちづくり</p>	<p>計画書 P57</p> <p>○蒲郡市立地適正化計画の推進 ○定住促進プロモーション ○宅地分譲の推進(春日浦地区)</p>	・蒲郡市立地適正化計画

項番	委員の意見	対応する施策等	項番	委員の意見
課題7「蒲郡の特性を活かしたまちづくり」				
15	働く場所がないと他市へ流出していくため、企業立地等による雇用の拡大には力を入れてほしい。	基本目標6 「蒲郡の魅力を活かしたまちづくり」 (2) 産業の活力を活かした定住促進	計画書 P58 ○市内企業の再投資推進 ○市外企業の新規立地推進 ○企業情報パンフレットによる市内企業 PR と人材確保の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・蒲郡市都市計画マスタープラン ・地域未来投資促進法に基づく基本計画
	アンケート調査結果の自由記入で、企業誘致してほしい等の要望がたくさんあるので、検討が必要である。			
	若者の流出をとどめるためにも、蒲郡で育ってきた若者が地元で働くことは重要で、企業誘致は力を入れてほしい。			
	23号バイパスに企業団地があり、その近くに道の駅を造れば、雇用もでき、蒲郡のPRを行うことができると思う。			